

などはよく話題になります。最近観た映画の話とか演劇の話も食いつきがいい話題です。このため映画の題名や俳優の名前は英語で言えるようにします。たとえ洋画が日本語の題名で公開されていても、原題がどこかにあるはずです。

食事時に英語で話す場合、大人として避けるべき話題が「政治・宗教・給料」です。人によって立場が大きく違うので、隠れた地雷を踏まないようにこうした話題には深入りしないのが大人の知恵です。若い人はスポーツの話とか芸能界の話が盛り上がるのでは。子供がいれば学校の話とか教育の話も出るでしょう。エンジニアといえども仲間うちの話では一般常識が問われるので、社会的な単語の知識が必要です。

歴史や経済の話のとき困るのが有名人の名前です。特に中国人の名前は日本語読みと原語の読みが違うので、英語で話す時困ります。両方の読み方を覚えることがコツです。例えば孔子は Confucius といいます。地名も北京は Beijin です。

「習近平」は「しゅうきんぺい」ではなく「Xi Jinping」という中国読みが会話に登場します。韓国も同様に「金大中」は「きんだいちゅう」ではなく「Kim Dae-jung」と韓国読みを使います。なまじ漢字が読める日本人は、残念な事にここでつまづくことが多いです。最近は日本のマスコミも中国

語なり韓国語の読み方で要人の名前を呼ぶところが増えてきていますね。英語で人と話すときに、そうした要人の名前を正しく知っている与会話に役立ちます。

相手の言っていることが要領を得ない時はこう尋ねます。

What do you mean?

すると相手は自分の言いたいことが伝わらなかったと気づくので、言い方を変えるか別の角度から説明してくれます。

I mean that ...

抽象的な話は伝わり難いので、具体的な例をあげて説明するのがコツです。身振り手振りなどの身体言語も駆使して説明すれば必ず相手に分かってもらえます。紙に絵を描いて説明するのもよくやる手です。言葉では分かりにくい情報も、絵を使うと簡単に理解できることがあります。英語の諺にもありますね。

A picture is worth a thousand words.